

小中一貫教育を推進しています

「総合的人間力」の育成を図るため、小中一貫教育を基盤とした取り組みを進めてきました。
 中学校ブロックごとに、「めざす子ども像」を共有し、就学前から小・中学校の9年間を見通しながら、課題解決に向けた特色ある取り組みを実施しています。千里丘中学校ブロックは中学校1校、小学校3校、幼稚園1園からなり、活発に園児・児童・生徒間の交流、教職員の交流を行っています。
 主な取り組みを紹介します。

●千里丘中学校ブロック（東山田幼稚園、山田第二小学校、東山田小学校、千里丘北小学校、千里丘中学校）●

めざす子ども像

コミュニケーション力の育成と言語活動の充実をめざして



交流行事	幼稚園・小学校	・園児が小学校へ行き、小学生と一緒に給食を体験します。
	幼稚園・中学校	・中学校の英語クラブ(E S S 部)が園児に英語の授業を行います。
	小学校	・3校の小学5年生が大縄跳びなどを通して交流します。
	小学校・中学校	・中学1年生が3校の小学3年生に対し「外国の遊びや文化」などをテーマに出前授業を行います。 ・支援学級では、調理実習などを通して交流を深めます。
教職員交流		・教職員スポーツ交流会や合同夏季研修・合同初任者研修などの研修、月1回程度の幼小中一貫教育推進会議での情報共有などを実施しています。 ・道徳の授業など各校持ち回りで公開授業を行い、授業改善に生かしています。

今年度のスクールプロジェクト支援事業

小・中学校の個性を生かした特色ある学校づくりを支援しています。

笑顔あふれる吹六小を創ろう

吹田第六小学校

教職員向け多様性教育研修ワークショップや全学年で多様性教育プログラムを実施することで、「思いやり」のこころを育て、いじめをなくし、学び合い高め合う集団づくりをめざします。



小学校ブラスバンド活動活性化

山手・千里第二・山田第二・西山田小学校

市内でも数少ない小学校のブラスバンドの活性化を図るため、楽器の修理や新調、合同練習や地域行事での演奏実施。2月には4校合同で「なかよしコンサート」を実施予定。



親子で読書を楽しもう

岸部第一小学校

家読コンクールや読書の楽しさを伝える保護者・児童向け講演会の実施。図書館や各学年の図書コーナーの整備・充実を図ります。



教育理念

今 吹田から未来の力を

いのち 生命かがやき ともにつながり
 未来を拓く吹田の教育

第64号 教育だより

令和元年(2019年)11月1日 発行 吹田市教育委員会 朝日町3・408 ☎6155・8084 FAX6155・8077

次年度から、新学習指導要領が本格実施されます。市でも、その動きも踏まえた市主体の教職員研修や各校園での特色ある取り組みの充実をさらに図っていく必要があります。今回は市独自の取り組みを紹介します。

教職員と教育委員の学びの場 吹田市教育研究大会を開催

同大会は、市内すべての学校園の教職員を対象にした研修会です。今回は、『今 吹田から 未来(あす)の力を「地域に根ざした質の高い公教育の創造」～グローバル社会を生きぬくコミュニケーション力の育成』をテーマに開催しました。開会にあたって喫緊の課題となっているいじめの問題などを踏まえ、教育委員がそれぞれの考えを教職員へ伝えました。



原田勝教育長

英語教育の推進により吹田の子供たちがグローバルな視点を持って世界とつながっていく力を育めるよう願っています。いじめの問題については、総合教育会議においても新たな対応策を協議するなど、現在、総力を挙げ取り組んでいます。

和泉慎次委員

人の立場を思いやる気持ち、人の行為に感謝する気持ちは、心の豊かさを成長させるひとつのファクターになります。また、心に余裕を持ち、笑顔で子供たちと接することで、さまざまな問題の早期発見、早期解決にもつながると思います。

谷口学教育長職務代理者

小さな問題に丁寧に対応していくことでトラブルを回避できます。いじめも同様で丁寧に対応し、共有することで重大な事案が起こらないと思います。教員同士で子供たちのことを常に共有し、素晴らしい吹田の子供たちを育ててほしいと思います。

安達友基子委員

「自分が普通」ではなくて、「世の中には、さまざまな人がいる」ということを知ることは、いじめをなくすためにも大事なことです。学校の中でもそのことを子供たちに伝えていただきたいと思います。

福田知弘委員

読書は自分の知らない世界に連れていってくれるとともに、グローバル社会のコミュニケーションの基礎になります。また、自分で深く考えていくことにもつながる、大切な習慣です。ぜひ読書をする環境を作っていただきたいと思います。

和田光代委員

子供たちには誰もがぶつかる「停滞期」という壁から逃げることなく、忍耐強くやり抜いてほしいと思います。それが生きる力となります。吹田の子供たちの持っている力、潜在能力が引き出せる指導をこれからもよろしくお願いします。

「障がい理解」をテーマに全体講演会

大阪体育大学客員教授の高橋明さんが「可能性を信じて～変化する素晴らしさ～パラリンピックを通して」をテーマに、自身の啓発活動やパラリンピアンとの協働の経験から「何ができないかでなく、何ができるか」という視点や「二つのそうぞう(想像・創造)力を働かせ、チャレンジすること」の重要性について講演されました。参加した教職員は「子供たちがたくさんの人や物事に会い、接していく経験を重ねられるように、背中を押してあげたい」などと話しました。